

28年度事業報告書

特定非営利活動法人 和泉防災ネットワーク

I 事業期間

28年4月1日～29年3月31日

II 事業の成果

28年度は、4月に熊本地震が起きたため、市民や施設の経営者等の防災意識が強くなり、研修や訓練の依頼をたくさんいただきましたが、それらをこなすことで目まぐるしい一年でしたが、同時に会員にとって各自スキルアップができた一年でした。

また、後期は、大学からの依頼で当法人の活動内容や課題を検討することになり、設立から5年間を振り返る良い機会にもなりました。

二年前から始めたネットワーク事業「防災ネットコーナー、ぼうさい相談」も定着し、コミュニケーションカフェ”オアシス”が、活動拠点、並びに防災のネットワークの拠点として大いに役立ちました。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 大規模災害時における防災対策計画の策定及び政策提言に係る事業

【実施内容】 今年度も、和泉市災害リーダー養成講座へのゲスト参加をした程度で、大きな動きはありませんでしたが、昨年度に引き続き和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」に対して、「熊本地震」をはじめ、年間を通して災害ボランティア情報提供を行う等、市や市社協との話し合いの場を持つことは欠かしませんでした。

【収 入】 0円

【支 出】 0円

(2) 災害時に多様な機関・組織、関係者が、地域や行政と協働、協力して支援する為のネットワークの構築事業

【実施内容】 ①コミュニケーションカフェ”オアシス”的一角を借りて防災関連の書籍や防災グッズを展示し、いつでも自由に閲覧できるような「和泉防災ネットコーナー」を常設。それに伴い防災相談日を設定（毎月第4金曜日 午後2時～5時）。当法人の活動拠点としても定例会を開催するなどメンバー間の連絡もスムーズに行うことが可能になりました。

【実施場所】 コミュニティカフェ”オアシス”

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 市民

【収 入】 0円

【支 出】 会議費 6,600円 交通費 24,000円

【実施内容】 ②和泉市防災リーダー懇親会の事務局として企画、準備、参加者のとりまとめ、司

会進行等を行いました。和泉市内で防災に关心を持っている人が約100名も参加する良い機会でしたので、アンケート調査を行うなど、今後のネットワーク構築につながるような仕掛けづくりをしていきたいと検討しています。まずはメーリングリストを立ち上げ、メンバーからの意見も抽出していく予定です。

また、和泉市では29年度も4期生を募集する予定なので、今後は和泉市とも更に強い連携ができるよう努めて参ります。

【実施場所】 和泉市コミュニティセンター

【実施日時】 平成29年3月11日（土）

【事業の対象者】 和泉市防災養成講座受講生（卒業生を含む）

【収 入】 0円

【支 出】 消耗品費 8,461円 雑費 1,000円

(3) 各事業の成果を市民が理解しやすい方法による普及・啓発活動事業

(i) 市民を対象とした啓発活動

【実施内容】 ① 弥生まつり

NPO法人いづみ太鼓 鼓聖泉より熊本地震の復興チャリティーコンサートで防災コーナーを出展してほしいと依頼があり参加しました。

大阪府から提供されたアルファ米100食を試食できるような形で無料配布を実施。ブースでは非常食の展示（ローリングストック法の啓発）。ステージでは熊本地震の状況を少し紹介したあと、そこからの教訓として、「1.助けて！と言えること（日頃からの環境）、2.自分でできることはする（備蓄）3.正しい情報を入手する」等15分程度プレゼンさせていただきました。参加者推定2,000人に対して当法人のチラシを配布してもらうこともでき、大きな啓発活動になりました。

【実施場所】 池上曾根遺跡

【実施日時】 平成28年5月5日（祝・木）

【事業の対象者】 市民

【収 入】 0円

【支 出】 交通費 10,700円 消耗品費 1,534円

【実施内容】 ② 和泉ボランティア・市民活動フェスタ

毎年参加している和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」主催のフェスタに出展。今年は、消防署から水消火器をお借りして消火器体験を実施。スタンプラリーコーナーの一つとして消火器の使い方を啓発し、景品として非常食（おやつ）を配布。同時に「出張 ぼうさい何でも相談」をしながら非常食の展示やローリングストック法の啓発も実施しました。

【実施場所】 和泉シティプラザ

【実施日時】 平成28年11月23日（祝・木）

【事業の対象者】 市民

【収 入】 0円

【支 出】 交通費 5,000円 消耗品費 10,903円

【実施内容】 ③ 防災とボランティア市民の集い

阪神淡路大震災以降、毎年この時期に和泉市で開催している防災イベント。今年は約 100 名を対象に大型避難所運営ゲーム（HUG）が企画され、当法人に講師依頼がありました。あいにくの天候のため、多少参加者は減りましたが、各地域の出席者がそれぞれのテーブルで地域の個性を出しているのが、まるで災害時の各避難所の縮図を見ているようでした。

【実施場所】 国府小学校体育館

【実施日時】 平成 29 年 1 月 15 日（日）

【事業の対象者】 市民

【収 入】 50,000 円

【支 出】 交通費 6,000 円 報償費 7,500 円

(ii) 子どもを対象とした啓発活動

【実施内容】 ① Do You Know BOUSAI ?

NPO 法人 子ども NPO センターいづみっ子との協働で子ども向け防災体験学習を企画。前半は、避難体験（ジャッキアップ、担架つくり、119 番通報、避難所体験など、）後半は、防災グッズの勉強（当日は各自持ち込んでもらって自慢大会）の二部構成で実施。「学校で教えてもらっていないことがいろいろわかった」「ふだん考えたことなかった」「子どもと一緒に考えられる良い機会になった」等の感想をいただき、防災へのきっかけづくりとして役に立っていることを実感できた企画でした。

【実施場所】 和泉市コミュニティセンター

【実施日時】 平成 28 年 9 月 11 日（日）

【事業の対象者】 3 歳～高校生

【収 入】 5,000 円

【支 出】 交通費 13,000 円

(iii) 青少年を対象とした啓発活動

【実施内容】 (i) 避難所運営ゲーム（HUG）

青少年センターより、時間をかけてゆっくり避難所運営ゲーム（HUG）を実施したいとの依頼があり、少人数制の HUG を実施。休憩を挟んで質問の時間もたっぷり取れ、大人とは違った高校生の視点を知ることができました。なかでも、実際に避難所が開設されるような事態が起きた時には、自分たちが手伝わなくてはいけないことを理解していたことには頭が下がる思いでした。今後は青少年の世代にも、もっと積極的に啓発活動の必要があることを、改めて実感しました。

【実施場所】 和泉市立青少年センター

【実施日時】 平成 28 年 12 月 10 日（土）

【事業の対象者】 高校生～大人（40 歳くらいまで）

【収 入】 10,000 円

【支 出】 交通費 3,000 円

(iv) 教師や保護者を対象とした啓発活動

【実施内容】 ① 防災講演

(社福) 幸生会より、保育園の先生、ガイドヘルパー、障がい者の家族などを対象に、子どもや障がい者のために、備えなければいけないこと(物)や避難する為の注意点、避難所生活などを教えて欲しいという依頼があり、講演とワークショップを開催。

地震発生から避難生活までの一般的な話をしたあと、「災害をイメージしよう」というワークショップを実施。家族それぞれの、普段の24時間書き出したてもらい、災害時の設定を指示して、その後どういうことが発生し得るかをイメージしてもらいました(自分を主人公にして物語を作ってもらう)。その後、実際にそうなるためには、また、そうならないためには日頃からどうしておけば良いかをグループで話し合ってもらいました。

【実施場所】 幸幼稚園

【実施日時】 平成28年5月19日(木)

【事業の対象者】 (社福) 幸生会の職員及び関係者

【収 入】 30,000円

【支 出】 交通費 1,900円 報償費 4,500円

【実施内容】 ② 避難所運営ゲーム (HUG)

すこやかネット(富秋中学校区地域教育協議会)より依頼があり、小中学校の教師、保育園の先生、地域住民など(約60名)を対象に避難所運営ゲーム(HUG)を実施。90分というタイトなスケジュールでしたので、カスタマイズしたオリジナル版を使用し、避難所開設直後から翌日の朝までの流れを体験してもらいました。

【実施場所】 池上小学校体育館

【実施日時】 平成28年5月21日(土)

【事業の対象者】 小中学校及び幼稚園の教師

【収 入】 10,000円

【支 出】 交通費 9,100円 会議費 2,750円 報償費 1,500円

【実施内容】 ③ 防災展示

チャイルド幼稚園より頼があり防災のグッズや非常食の展示を実施。園児の発表会との同時出展の為、保護者を対象に乳幼児向けの非常食やトイレなどを中心に展示。開催中に実際に和歌山で地震が発生し、会場でも震度3程度の揺れが発生し緊急に広場への避難放送があり、その後は保護者も熱心に私たちの話を耳を傾けてくれました。

【実施場所】 チャイルド幼稚園

【実施日時】 平成28年11月19日(土)

【事業の対象者】 園児の保護者

【収 入】 10,000円

【支 出】 交通費 3,900円

【実施内容】 ④ 防災ずきんづくり

チャイルド幼稚園より、保護者が家で簡単にできる防災の話をしてほしいという依頼があり、乳幼児を抱えて避難する為に少しでも荷物を減らし、両手を開けるための方法とし「バスタオルで作る防災ずきんづくり」を実施。

作り方は簡単なので、作りながらどのような防災グッズが必要かグループごとに話し合ってもらいました。

【実施場所】 チャイルド幼稚園

【実施日時】 平成28年12月8日（木）

【事業の対象者】 園児の保護者及び保育士

【収 入】 10,000円

【支 出】 交通費 4,200円

(v) 障がい者を対象とした啓発活動

【実施内容】 ① 防災訓練

和泉市聴覚障がい者防災ネットワークより、毎年市が開催している防災訓練のような内容を聴覚障がい者が理解できるようゆっくり実施したいと依頼があり、市や消防署の職員と内容を検討。場所の提供として以前から自主防災の訓練でつながりのある鶴山台北校区のみなさんの協力のもと、小学校の体育館を使用させてもらいました。

3班に分かれて交代で5つのことを体験（備蓄倉庫の点検、簡易トイレの組み立て、発電機の使い方、給水タンクの組み立て、AEDの使用方法、非常食の試食）

私たちも訓練を通して、「伝えること」と「伝わること」の違い、そして伝わる（理解してもらえる）ためにどのような支援が必要なのかを学ぶ良い機会になりました。

【実施場所】 鶴山台北小学校体育館

【実施日時】 平成28年6月19日（日）

【事業の対象者】 聴覚障がい者及び支援者（手話通訳、要約筆記ボランティア等）

【収 入】 0円

【支 出】 交通費 13,600円 消耗品費 500円 雑費 1,782円

【実施内容】 ② 和泉支援学校PTA秋まつり

毎年、障がい者の避難所での食事体験をテーマに、体育館の中をパーテーションで仕切り、実際に食べてもらう企画を検討しています。今年で4回目になり少し目先を変えようと「ビニール袋クッキング」を実施。保護者だけでなく、参加していたボランティアさんも大変興味を持って積極的に手伝ってくれました。

【実施場所】 和泉支援学校 体育館

【実施日時】 平成28年11月5日（土）

【事業の対象者】 和泉支援学校のPTA、生徒、卒業生、近隣住民

【収 入】 30,240円

【支 出】 交通費 14,200円 消耗品費 2,989円

(vi) 地域を対象とした啓発活動

【実施内容】 ① 防災ずきんづくり

府中西女性会から短時間で簡単にできることで防災の啓発をしたいとの依頼があり、防災ずきんづくりと非常食（ローリングストック法）の啓発を実施。

【実施場所】 府中西町会館

【実施日時】 平成28年8月28日（日）

【事業の対象者】 府中西女性会の会員

【収 入】 5,000円

【支 出】 交通費 3,000円

【実施内容】 ② 避難所運営ゲーム（HUG）

南池田校区社協ボランティアの研修で避難所運営ゲーム（HUG）をしたいと準備一式を依頼。災害直後の避難方法や避難所の状況なども説明し、日頃からの地域のつながりが復興にどう影響するのかを考えもらいました。

【実施場所】 和泉生涯学習サポート館

【実施日時】 平成28年11月3日（祝・木）

【事業の対象者】 南池田校区社協ボランティア、民生員、町会役員等

【収 入】 30,000円

【支 出】 交通費 6,900円 消耗品費 4,398円 報償費 4,500円

【実施内容】 ③ 防災講演

南松尾校区の合同いきいきサロンで高齢者向けの防災のお話をしてほしいと依頼。簡単な防災教育のビデオを見てもらい、助かること、助けてもらうことが、結果的に周りの人たちの役に立つこと理解してもらい、そのためには日頃から地域の催しにできるだけ参加してもらうことが必要であることを啓発しました。

【実施場所】 春木町新会館

【実施日時】 平成28年11月13日（日）

【事業の対象者】 南松尾校区のみなさん

【収 入】 5,000円

【支 出】 交通費 1,700円

【実施内容】 ④ 防災訓練

南池田自主防災会からの依頼で防災倉庫の点検や資機材の使用訓練を実施。消火訓練、救護訓練、給水訓練、炊き出し等、併せて5つの訓練を体験してもらいました。消火訓練においては消防署の協力もあり小型動力ポンプからの放水による筒先保持訓練など本格的な訓練をしてもらいました。

【実施場所】 南池田小学校体育館及び運動場の一部

【実施日時】 平成29年2月26日（日）

【事業の対象者】 南池田校区自主防災会会員及び関係者

【収入】 10,000 円
【支出】 交通費 13,000 円

(vii) その他の啓発活動

【実施内容】 (i) 防災ずきんづくり

昨年度の岸和田公民館の紹介で、八木公民館より女性を対象とした防災の啓発を何かしたいと依頼があり、防災ずきんづくりと非常食（ローリングストック法）の啓発を実施。

【実施場所】 岸和田市立八木公民館

【実施日時】 平成28年6月21日（火）

【事業の対象者】 八木公民館の女性学級の生徒

【収入】 10,000 円

【支出】 交通費 3,400 円 報償費 1,500 円

(4) 大規模災害時におけるCAN(Computer Aided Network)の研究並びに開発事業

【実施内容】 今年度もポータルサイトの立ち上げには至らなかったが、facebookとスタッフブログを連動させ、できるだけたくさんの情報を発信するよう努力しました。

また、月に一度のメルマガ配信（計12回）を実施し、防災の啓発と東日本大震災の復興情報、熊本地震災害ボランティア情報の発信を行いました。

【実施場所】 当法人事務所

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 市民

【収入】 0 円

【支出】 通信費 6,458 円 報償費 10,000 円

(5) 諸活動に係る団体への相談・支援事業

【実施内容】 ①障がい福祉を勉強する会（多様な障がいを持つ人と支援する人が一緒に勉強する会）
昨年に引き続きインクルーシブ防災プロジェクト会議のオブザーバーとして協力。
今年度は、アンケート調査と「街歩き被災シミュレーション」を通しての防災マップ作りを中心に検討。防災マップの作成にまでは至らなかったがシミュレーションは5件の施設と連携して実施することができました。

【実施場所】 （社福）和泉幸生会 スマイルともに

【実施日時】 平成28年4月～平成29年9月（毎月第3木曜日）

【事業の対象者】 障がい福祉を勉強する会の会員

【収入】 0 円

【支出】 0 円

【実施内容】 ②桃山学院大学

経済学部の基礎演習 テーマ「『社会を変える』ってどういうこと？」の中で、NPO法人を取り上げて現状と課題解決について学習したいので協力してほしいと依頼があり、法人の設立主旨、活動紹介、現状と課題などをプレゼンしました。

学生の出した解決方法はスケールが大きすぎて私たちにはまだ難しい内容でしたが、

私たちにとって設立から5年間を振り返る良い機会にもなりました。

【実施場所】 桃山学院大学

【実施日時】 平成28年11月～平成29年1月

【事業の対象者】 桃山学院大学経済学部1回生

【収 入】 0円

【支 出】 1,900円

(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

他施設への広報活動や会員のスキルアップのために外部の研修への参加

① 和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」への登録、活動紹介誌、情報誌、

ホームページ等へ掲載

② 会員のスキルアップのため、大阪府自主防災リーダー研修会に参加 (11/17)

【収 入】 0円

【支 出】 0円

IV 社員総会の開催状況

(日 時) 28年5月29日 (日) 10時から12時

(場 所) 和泉シティプラザ 学習室3B

(出席者数) 12名 (総正会員数12名)

(内 容) 平成27年度活動報告、平成28年度活動計画、他

V 理事会その他の役員会の開催状況

第1回理事会

(日 時) 28年5月28日 10時から11時30分

(場 所) コミュニティカフェ“オアシス”

(出席者数) 3名

(内 容) 理総会準備(決算確認)、28年度計画、他

第2回理事会

(日 時) 28年11月23日 15時から17時

(場 所) コミュニティカフェ“オアシス”

(出席者数) 3名

(内 容) 桃大からの要請について、下半期の活動予定、他

第3回理事会

(日 時) 29年2月26日 13時から15時

(場 所) 当法人事務局

(出席者数) 4名

(内 容) 和泉市防災リーダー懇親会事務局としての関わり方、5周年事業について、他